



# 修猷館ラグビーOBクラブ

会報 平成23年10月号

修猷館ラグビー部 公式ホームページ  
URL <http://rugby-shuyukan.com/>

## 平成23年度 現役激励会



安部会長(S41)の挨拶



秋吉先輩(S26)の乾杯



古賀先輩(S33)



坂本先輩(S20)



東主将の決意表明



渡邊先生の御礼挨拶

**ヒガシとかニシとか言いやんな!  
とにかくベストを尽くしやい!**

……大先輩からのメッセージ

去る10月8日(土)18時半より修猷館高校食堂で、平成23年度「現役激励会」が行われました。合宿中の岡本先生・渡邊先生・杉山先生はじめ、保護者のみなさま、OBの大先輩方に出席をいただき、熱い時間を過ごしました、3年生部員たちの率直な思いを聞き、「自

分のプレーを出し尽くせ!悔いを残すな」と願うばかりです。

我が修猷館ラグビー部は、4回戦からの出場です。

10月23日(日)12:20キックオフ。試合会場は東福岡高校グラウンドです。OB諸兄の応援、よろしくお願いいたします。みんなで、グラウンドに集まって熱い応援をしましょう。



## U17日本代表CTB永富健太郎君 名古屋に来たる

2年生の永富健太郎君がU17日本代表に選ばれ、去る8月19日から22日まで愛知学院大学において合宿練習を行い、23日から27日まで名古屋市瑞穂ラグビー場での「第19回 日・韓・中ジュニア交流協議会」対抗戦に参戦しました。

名古屋ラグビースクールの指導員をやっている私は22日の愛知学院大学での練習の一部と23日の瑞穂ラグビー場での対韓国U18代表との試合を観戦しました。

日本代表の団長である日本協会理事の前田嘉昭先生は東京教育大学のご出身。修猷館高校のOBであることをお話して挨拶すると、「修猷館は私らの先輩が指導をしておられた」と瀧本先生のことを言われたので、私はその教え子ですと話が弾みました。

永富君はラグマガ誌の紹介によると全国高校合

同チーム大会(菅平)で、「180センチ、78キロCTBでの登録ながらSOとして巧みなゲームメイクを披露。躍動感あるパス回しに加え距離の出るロングパント、体を張った防御でも存在感を示し、今大会で一躍名を挙げた」とありましたが、会ってみると好青年。大型選手であり実際に見た試合でもバランスの良い動きで、周りがしっかり見えており楽しみな逸材だなと思います。OBでヤマハ発動機ジュビロの三角君がキャプテンのときCTBで活躍し花園出場が期待されましたが、永富君を始めとした修猷館現役チームも今年・来年と力をつけ、いい成績を出してくれるのではないかと期待してしまいます。

永富君、ようこそ名古屋へ来てくれました。これからのますますの活躍を期待しています。

満生修二 昭和45年卒、名古屋在住

## 17歳以下日本代表に選ばれた永富健太郎君

幼稚園の年長の時、小倉高OBの父に北九州にある鞘ヶ谷ラグビースクールに連れて行かれ、楯円球に触れた。それ以来、ほとんどSOをやってきた。

父の転勤もあり、高取中学へ進んだが、ラグビーは鞘ヶ谷まで通って続け、九州大会では優勝を経験。九州選抜にも選ばれ、花園の全国大会では3位になった。

入学当初から注目された存在だった。2年になったこの夏、日韓中ジュニア交流17歳以下日本代表にセンターで選ばれた。その前に菅平であった全国高校合同チーム大会で、九州を優勝に導いた活躍が認められた。韓国戦と中国戦にウイングとセンターで出場。実は不器用なのだが、ボックスならどこでもそつなくこなす安定したプレーへの評価は高い。

愛知での大会後、休む間もなく佐賀へ移動。全福岡の少年のメンバーとして国体九州ブロック大会を勝ち抜き、山口国体出場を決めた。充実した夏を過ごし、さらに、たくましくなった。

180センチ、78キロ。17歳以下日本代表のボックスでは最長身だった。目下の悩みは体重が増えないこと。全国レベルの試合を経験して、接点の激し

さを感じたが、そこでファイトする楽しさも知った。もっとパワーをつけたい、と思うようになった。

すべてのプレーが平均点以上だが、今のところ周囲が息を飲むような持ち味があるわけではない。「選ばれたからには、ジャパンのプライドを持ってやっていきたい」。さらに、大きく、強く。誇りを胸に練習に励む毎日だ。

国体九州ブロック大会で、東福岡主体の全福岡は、全長崎にやや苦戦した展開になった。「あんな風に気持ちで前にでてこられると、東福岡でも自由には動けない。僕らが、ああいうプレーをやれば」。思いは既に、王者に挑戦することになる10月30日の全国高校大会福岡県予選準々決勝に向かっている。

森田博志  
(S58卒)





## 合宿1日目 2年 中村 友紀

今日は待ちに待った合宿1日目だった。

バスで学校を出発した時は晴れていたのに、鹿児島に着いたとたん雨が降ってきた。きっと鹿児島がカッコいい修猷ラグーマンを歓迎していたのだろう。

福田荘に着いた。マネージャーの部屋は今年の3倍くらい広くて嬉しかった。もちろんテレビは地デジ対応だった。

今日の試合は大きなけが人が出ず、ほっとした。

福田荘では夕食が待っていた。1年部員が白飯に苦戦する中、舞鶴中出身・高橋吾郎は水と塩をかけておかゆにするという画期的な食べ方に挑戦した。失敗に終わり、最終的に処理したのは、2年永富健太郎だった、彼は大切そうに、少しずつ、特製おかゆを食べた。福田荘1日目の夜は皆ゆっくり休めたようだ。元原北中生徒会長・2年大長優は押し入れて休んだそうだ。

これから3日間、無事にけがなく終わればよいと思う。

## 合宿2日目 1年 國武 八衣子

初めての合宿は何も分からないまま、知らないまま、スタートしました。だから1日目は何ひとつ自分から行動できず戸惑って、先輩の動きを見て合せて動くことしかできませんでした。

ところが、動きを見ていた分だけ2日目は順序良く動きました。それは部員のみなさんも同じことが言えて1日目よりも、きびきびとした動きができていたと思います。練習もとても暑い中で行われましたが熱中症で倒れる人などがなくて少し安心しました。体調を崩している人もいましたが、最後まで全力で頑張っている姿はとても格好良かったです。ご飯は1日目よりも増して、すごい量でしたが、誰ひとり残すことなく食べきっていました。午後の練習は、午前前に比べて断然暑く、顔が真っ赤になっている人も多くいましたが、大きなケガをする人もいなかったのが良かったです。1日目よりひとりひとりが変わっていたので、あと2日で大きく成長しようと思いました。

## 合宿3日目 1年 熊谷 優

初めての合宿も3日目。今日は、かぐやひめグラウンドではないところで練習だったので、いつもより早く出発しました。朝早かったので朝ごはんが食べられませんでした。

朝は普通の練習で9時に終わりました。宿舎に帰ってお昼ご飯を食べました。やっぱり多くてきつかったです。そのあとはマネージャーみんなでトランプをしました。少しお昼寝をしました。

午後は、たくさん練習試合がありました。暑かったけど、選手はもっときついだらうなと思いました。いつもより水の減りが早かったです。

帰って夜ごはんのときにネタが見られるのを楽しみにしていたのに、なくなってしまって残念でした、ご飯は、とんかつとローストチキンとさかなと水餃子とマカロニサラダとご飯でした。

明日は最終日!がんばりましょう。

## 合宿4日目 2年 霜田 桃子

最終日の練習試合は、Aチームvs北陽台 7-12、Bチームvs高鍋 7-19という結果でした。1試合目は染原さん、2試合目には植木さんがトライ!

最後の練習はマネージャー一同はらはらして見守りました。容赦なくボールを蹴る先生方が鬼に見えました…しかし、川上さんはナイスランで、チェイスは誰よりも大きな声で皆を引っ張ってくれました。がむしゃらに走る部員の皆さんの姿は本当にかっこ良かったです。

恒例のスイカ割りも各学年1人ずつ選択されて行われましたが、3年マネ・武知遥先輩が一番上手かった気がします(笑)。

4日間、厳しい練習や試合が続き、部員の皆さんは本当に大変だったと思いますが、マネも含め、秋の大会に向けて大きくステップアップできた有意義な合宿だったと感じています。お世話になった先生方、福田荘の方々、保護者の皆さん、本当にありがとうございました。

## 幹事会報告(10月4日(火))

### ●釜石シーウェイブスより、支援の御礼

4月の総会で幹事会一任になっていました、東日本大震災で被災した岩手県釜石市を拠点とする「釜石シーウェイブス」への支援ですが、修猷館ラグビーOBクラブとして10万円の義捐金を送っておりました。そのお礼状が、届いており披露されました。

### 修猷館ラグビーOBクラブ御中

多大なるご支援に心より深く感謝申し上げます。諸事の遅れから、御礼状発送が遅れましたことをお詫びいたします。

お陰様で徐々に業務も回復し、チームもシーズン3戦を経過して、2勝を挙げております。

柴田先輩のご縁にて、弊クラブ情報誌、メンバー表とDVD2点を送付させていただきますので、どうかご落掌の程を。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

釜石シーウェイブス事務局長 増田久士

### ●2012ゴールデンオールディーズ・

### ワールドラグビーフェスティバル福岡に 修猷館ラグビーOBクラブとしてエントリー

来年10月28日～11月4日、「2012ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビーフェスティバル福岡」が開催されます。世界中の35歳以上のラグビー愛好家たちが2年に1回集う、国際的なスポーツコンベンションで、1979年開始以来、今大会で19回目を迎えます。

<http://www1.i-kyushu.or.jp/krfu/topics/2011/gofukuoka.html>

この大会に、修猷館ラグビーOBクラブとしてエントリーすることが了解されました。今後、取りまとめと調整等を行う「サポート事務局」を立ち上げ、35歳以上の参加者を募ってまいります。



## 東京支部「新人歓迎会およびOB・OG懇親会」報告

平成10年卒の徳島と申します。先日東京支部にて「新人歓迎会およびOB・OG懇親会」を開催致しましたので報告させていただきます。

今年で5回目となります関東在住OB・OGによる「新人歓迎会およびOB・OG懇親会」は7月15日(金)18:30~20:30、「ホテルふくおか会館」にて開催されました。今年度は60歳以上7名、社会人(60歳未満)26名、学生27名の他、福岡からは斉藤先輩(S30卒)、松尾事務局長、岡本顧問、渡邊監督にお越しいただき、また来賓として福岡高校ラグビー部OB森重隆氏他2名をお招きし、総勢67名にて盛大に行われました。

昭和20年卒の大先輩から平成23年卒の学生まで多岐にわたる世代のOB・OGが一堂に集い、世代を超えて親睦を深めることができました。東京支部会長である安川先輩(S44年卒)のご挨拶や今年から関東に来られた新人学生の自己紹介、また永遠のよき友でありライバルである福岡高校ラグビー部とのエール交換等を行いました。世代を超えて楽しく飲み交わしているシーンや、初めてお会いした先輩と名刺交換をするシーン、また就職活動を控えた学生に対して熱心にアドバイスをしているシーン等が

見受けられ、修猷館ラグビー部OB・OGの結束の強さを再認識した次第です。

今後東京支部では、引き続き「新人歓迎会およびOB・OG懇親会」の継続実施はもちろん、全国の公立伝統校が集う10校ラグビーフェスティバルへの参加、女子マネージャー会を通じたOG同士の懇親等、縦・横の交流に寄与する活動を積極的に行っていく予定でございます。また、関東に来られた学生への就職活動支援等も行うべく現在幹事会にて打ち合わせ中でございます。卒業後も修猷館ラグビー部OB・OGであることに喜びと誇りを感じられ、諸先輩方からご教授いただいたことが脈々と引継がれていくような強い組織にすべく、定期的な活動を続けて参る所存でございます。

最後になりましたが、本会の開催・運営にご尽力いただきました多くのOB・OGの皆様はこの場を借りて深く御礼を申し上げます。

以上簡単ではございますが、「新人歓迎会およびOB・OG懇親会」のご報告とさせていただきます。

平成10年卒 徳島 圭典



※平成23年度年会費の納入にご協力をお願いいたします。

★年会費 7,000円(学生 3,000円、70歳以上 5,000円)

★振込先 西日本シティ銀行 西新町支店 普通 1336258 修猷館ラグビーOBクラブ

●発行 / 修猷館ラグビー部OBクラブ

事務局 / 松尾 邦雄 (S46卒)

〒811-1347 福岡市南区野多目5-10-45

T E L 092-541-5503

携 帯 090-3012-0903

F A X 092-551-7290

E-mail mactaiho@san.bbiiq.jp